

講義名称	日本語教授法 I	担当教員名	矢端 晴美
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	日本語	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	HUM181

授業のキーワード	言葉と文化 日本語と国語 日本語の音
授業の概要	日本語話者にとって何気なく使っている言葉、日本語を「外国語としての日本語」という視点で学びます。
期待される学習成果 (目標)	1. 日本語の特性を知ることができます。 2. 自分の日本語の発音に気づき、改善することができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	日本文化と日本語 (第1講)	言語とは何のためにあるのでしょうか。
2	日本文化と日本語 (第2講)	「あいさつ」は何のためにあるのでしょうか。
3	日本文化と日本語 (第3講)	外国人にとって理解できない日本語のあいさつとはなんなのでしょうか。
4	言語としての日本語 (第1講)	日本語があいまいだといわれるのはなぜでしょうか。
5	言語としての日本語 (第2講)	日本語と他の言語を比べてみましょう。
6	言語としての日本語 (第3講)	日本語の「省略」のルールについて考えましょう。
7	日本語の音声 (第1講)	声を出さず仕組みついて考えましょう。呼吸・発音の練習をしましょう。
8	日本語の音声 (第2講)	日本語の音声はいくつあるのでしょうか。
9	日本語の音声 (第3講)	日本語の母音について考えましょう。
10	日本語の音声 (第4講)	日本語の子音について考えましょう。
11	日本語の音声 (第5講)	清音「か」と濁音「が」の違いはなんなのでしょうか。
12	日本語の音声 (第6講)	外国人学習者にとって難しい日本語の発音はなんなのでしょうか。
13	日本語の音声 (第7講)	アクセントとイントネーション。共通語と群馬方言
14	日本語の音声 (第8講)	母音の無性化等 より日本語らしく聞こえる発音の方法について学びます。
15	まとめ	講義全体を振り返ります。

定期試験	定期試験
授業時間外学習	教科書や参考文献等を積極的に読み進めることが望ましい。
評価方法	定期試験80% レポート20%
使用する教科書 (必ず購入してください)	「新・はじめての日本語教育 I 日本語教育の基礎知識 増補改訂版」高見沢 孟監修 アスク出版
参考文献	